

# バーモントカップ第26回全日本少年フットサル大会滋賀県予選 開催要項

1. 主 催 公益社団法人滋賀県サッカー協会
2. 主 管 公益社団法人滋賀県サッカー協会フットサル委員会  
公益社団法人滋賀県サッカー協会4種委員会
3. 特別協賛 ハウス食品グループ本社株式会社（予定）
4. 協 賛 （調整中）
5. 協 力 株式会社モルテン（予定）
6. 期日及び会場

参加申込み締切	平成28年5月15日（日）	詳細は17項参照のこと
抽選会・監督会議	平成28年5月22日（日）	ビッグレイク映像展示室
一次予選	平成28年6月4日（土）	ビッグレイクAコート 4面同時進行
二次予選	平成28年6月18日（土）	彦根市民体育センター（8:30～17:00）
決勝トーナメント	平成28年7月2日（土）	彦根市民体育センター（15:00～21:00）
会場所在地	ビッグレイク：守山市服部町 彦根市民体育センター：彦根市松原町3751-7	
全国大会	平成28年8月12日～14日 東京都/駒沢オリンピック公園体育館、大田区総合体育館	
7. 抽選会・監督会議及びルール研修会

平成28年5月22日（日）18:00より会議 19:00よりルール研修会開催（計画中）

※抽選会の出席者は各チーム1名とし、チーム代表として協議、連絡伝達できる者が出席すること。

※ルール研修会は、原則としてチーム代表者およびチーム帯同審判員となる者が出席すること。
8. 参 加 費 一次予選：1チーム 6,000円（抽選会の受付で徴収）  
二次予選：1チーム 2,000円（試合会場の受付で徴収。準決勝以降の参加費を含む）
9. 競技規則 大会開催年度の公益財団法人日本サッカー協会フットサル競技規則に準拠する。
10. 募 集 数 32チーム（先着順。規定数になり次第締め切り）【今回参加27チーム】
11. 参加資格
  - (1) 公益財団法人日本サッカー協会の4種またはフットサル4種登録を行ったチームであること。 滋賀県内を本拠地として活動するチームで、締切までに大会参加申込みを完了していること。
  - (2) 前項のチームに所属する2004年4月2日以降に生まれた選手であること。 男女の性別は問わない。
  - (3) 登録人数は、1チームあたり24名（選手20名、役員4名）を上限とする。
  - (4) 1チームあたり3名まで外国籍選手の登録を認める。 ただし当該外国籍選手は、出入国管理および難民認定法に定める在留資格を取得しているものとする。 なお学校教育法に基づく単一学校の選手によって構成されたチームについては、外国籍の選手とはみなさない。
  - (5) 選手及びチーム役員は、本大会において複数のチームに登録することはできない。 また都道府県大会から決勝大会に至るまでの期間、同一の選手及びチーム役員が、異なるチームに移籍して再び参加することはできない。
  - (6) チーム関係者全員が大会要項及び大会規定を遵守し「みんなで作る大会」をモットーに、運営に全面的に協力すること。（時間厳守・会場設置撤収・運営補助・帯同審判・タイムキーパー・ボールパーソンや記録係担当など）
  - (7) チーム代表者は、選手が心身ともに健康で大会への参加に問題がないことを、事前に保護者等に確認しなければならない。（参加承諾書等の書面で確認することが望ましい）
  - (8) 滋賀県予選及び全国大会の全日程に無条件で参加できること。

- (9) チームに1名以上、当年度内有効なJFAフットサル審判員の有資格者を登録すること。また登録審判員は、第2審判を行う技量を有すること。
- (10) チーム役員は、当該チームを指導把握し、責任を負うことのできる成人であること。
- (11) 参加チームは必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。

## 12. 競技方法

- (1) 一次予選・二次予選を行い、上位4チームが最終日の決勝トーナメントに進出する。
- (2) リーグ戦形式の勝ち点は 勝：3、引分：1、敗：0 とする。
- (3) リーグ戦形式の順位決定方法：勝点→得失点差→総得点→当事者対戦結果→抽選
- (4) 棄権または失格の場合は不戦敗とし、0対5で相手チームの勝利として記録する。
- (5) 試合時間は一次予選10分-3分-10分、二次予選8分-3分-8分のランニングタイムとする。準決勝以降は7分-3分-7分プレーイングタイムとする。
- (6) トーナメント形式で同点の場合はPK方式(3名)とする。決勝戦のみ、同点の場合6分間の延長戦を行い、それでも決しない場合はPK方式(3名)とする。

## 13. 全国大会への出場について

優勝チームは、2016年8月12日~14日に開催される全国大会に参加する義務がある。

## 14. 競技規定

- (1) ピッチの基本寸法(会場の条件により異なる場合がある)
 

大きさ：32m × 16m を基準とする。	ペナルティーマーク：5m
センターサークルの半径：2.5m	第2ペナルティーマーク：8m
ペナルティーエリア四分円の半径：5m	交替ゾーンの長さ：4m
タイムキーパー席の前のエリア：ハーフウェイラインの両端からそれぞれ4m	
守備側競技者がボールから離れる距離：4m	
- (2) ボール
 

試合球：モルテン製フットサル3号ボール
- (3) 競技者の数(試合に登録できる人数)
 

競技者の数：5名      交替要員の数：7名  
ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
- (4) チーム役員の数(試合でベンチ入りできる人数)
 

3名以内
- (5) 競技者の用具
  - ① ユニフォーム
    - ・各試合には登録した正副2種類のユニフォームを必ず携行すること。フィールドプレーヤー(FP)、ゴールキーパー(GK)ともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を登録すること。FPとGKは、正副をどのように組み合わせても明確に異なる色彩となること。
    - ・チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
    - ・FPとGKの両方で出場する選手は、同じ番号で両方のユニフォームを準備すること。異なる番号やビブスでの代用は認めない。ただし試合中やむを得ない事態の際は、主審の判断で臨機応変に対応する。
    - ・シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
    - ・選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はGKが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
    - ・ユニフォームの広告表示は、公益財団法人日本サッカー協会のユニフォーム規程に基づき承認された場合のみ認める。ただし広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームが負担すること。
    - ユニフォームには、チーム名、チーム固有のエンブレム、選手名、選手番号、承認済みの広告、メーカーロゴ以外の表示は認めない。
    - ・その他の事項については、公益財団法人日本サッカー協会のユニフォーム規程に則る。
  - ② 競技者及びチーム役員とも、体育館の試合フロアで使用する靴の底は、白色・鉛色・無色透明等の床面に着色しない色でフラットなものとする。スパイク、トレーニングシューズの使用や土足との兼用、裸足は禁止とする。人工芝ピッチではスパイクシューズの使用を禁止する。
  - ③ 交代要員は、競技者と異なる色のビブスを自チームで準備し、着用しなければならない。ただし広告表示のないものに限る。

## 15. 懲罰

- (1) 本大会の予選リーグで未消化の出場停止処分は、決勝リーグ以降の試合で順次消化する。滋賀県大会終了時点で未消化の出場停止処分は、決勝大会の試合にて順次消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (2) 本大会で退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。以降の処置については、本大会の規律委員会の決定に従うこと。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (4) 上記(3)項により出場停止処分を受けたとき、予選リーグ終了時点で警告の累積が1回るとき、または、滋賀県大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (5) 敗退または本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該選手が出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (6) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。委員長は、滋賀県協会フットサル委員会の委員長とする。

## 16. その他

- (1) 抽選会で、大会運営の詳細と補足ルールを決定する。
- (2) 試合当日は写真が確認できる選手証及び審判証を提示すること。提示なき者は参加できない。
- (3) 選手及び指導者は、試合開始時刻までに準備を完了すること。遅刻は認めない。
- (4) 受付済みの大会登録票は内容を変更できない。(明らかな誤字修正等は認めることがある)
- (5) 本大会に登録した選手は、敗退後であっても別のチームの試合に出場することはできない。県内外を問わず、予選開始後のチーム間の選手移動や変更等は認めない。同一団体から複数のチームで参加する場合、及びサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合も、それぞれのチーム間で移籍して再び参加することはできない。
- (6) 主催者は、大会中の災害、事故、怪我、疾病等についての責任を負わない。
- (7) 参加者は物損保障を含むスポーツ障害保険に加入し、怪我、疾病、人身事故、物損事故発生の際は、全てチームの責任で処置すること。
- (8) 体育館の試合フロアで使用する靴の底は、白色・飴色・無色透明等の床面に着色しない色でフラットなものとする。床に接触する部分に着色やメーカーロゴ等がある場合は、試合当日までに完全に削り取っておくこと。

## 17. 参加申し込み

- (1) 大会登録票は所定の電子データ様式に入力すること。自作の様式や手書きは認めない。大会登録票及びメンバー表の様式は公益社団法人滋賀県サッカー協会のホームページからダウンロードすること。
- (2) チーム名は「FC」などの短縮語を除き、日本語で表記しなければならない。英単語・ローマ字・その他外国語のチーム名表記での参加申し込みは認めない。
- (3) 大会登録票は、公益社団法人滋賀県サッカー協会事務局へ、Eメールに添付して送信すること。「事務局へのEメール送信」以外の提出方法は受け付けない。
- (4) 大会に関する連絡は全てEメールで配信するため、確実に受発信できるアドレスを使用すること。パソコンからのメールや添付ファイルを処理できないアドレスは使用不可とする。
- (5) 申し込みの締切は**平成28年5月15日(日)17時【必着】**とする。
- (6) 申し込みまでに協会のサッカーまたはフットサル選手登録を完了すること。チーム及び選手登録費は自己負担とする。大会登録票に必要項目を全て入力して提出すること。選手の未登録や登録票の記入漏れがある場合は受け付けない。
- (7) 申し込みの発信を必ず協会事務局に電話で連絡し、受け付け完了を確認すること。1団体から複数チームで参加する場合はその旨を伝え確認すること。連絡がない場合や、協会事務局がメール着信を確認できない場合は参加を認めない。

公益社団法人滋賀県サッカー協会事務局

E-mail shigafa@oregano.ocn.ne.jp 電話番号：077-585-0982

※ 選手登録の詳細は公益財団法人日本サッカー協会のホームページから「JFAへの登録」を参照

公益財団法人日本サッカー協会ホームページ <http://www.jfa.jp>

# バーモントカップ第26回全日本少年フットサル大会 滋賀県予選

## 申し合わせ事項（代表者会議確認事項）

### 1. 競技方法

- (1) 試合時間 一次予選：10-3-10分ランニングタイム  
二次予選：8-3-8分ランニングタイム  
準決勝以降：7-3-7分プレーイングタイム
- (2) タイムアウト 準決勝以降の試合では、前・後半各1回タイムアウトをとることができる。
- (3) 審判員 主審は協会より派遣する。準決勝以降は第2審、タイムキーパーも協会から派遣する。
- (4) 予選順位決定 参加チームをA～Fの6組に分けて予選リーグを行い、順位を決定する。  
勝ち点方式 勝3点 引分1点 敗0点  
勝ち点>得失点差>総得点>当事者対戦結果>主将による抽選  
抽選の方法は以下の通り  
複数の封筒のひとつに○印を記入した紙を入れ、リーグ表の上のチームから順に主将が封筒を選び、全員が同時に開封して内容を確認する。○印の紙が入った封筒を引いたチームを勝者とする。（3チーム以上の抽選は番号を記入した紙で行う）
- (5) 予選通過基準 合計10チームが二次予選に進出する。【A・B・C各組1位(3チーム)、D・E・F各組2位以上(6チーム)、A・B・C各組2位よりワイルドカード方式で1チーム】
- (6) ワイルドカード方式の順位決定方法 勝ち点>得失点差>総得点>抽選
- (7) 勝敗の決定 準決勝以降は、同点の場合PK方式で勝敗を決定する。決勝戦のみ、同点の場合前後半各3分間の延長戦を行い、決しない場合はPK方式で勝敗を決定する。

### 2. その他

- (1) 本大会への参加について、選手の所属する4種チーム代表者の同意を得ていること。同意については、同意書等の書面で確認することが望ましい。
- (2) 極端な悪天候等で遅刻する場合は、速やかに大会役員へ連絡し相談すること。通常の交通渋滞等の理由は認めない。
- (3) 会場準備と撤収、第2審判、タイムキーパー、記録係及びボールパーソンの割り当てに対応すること。
- (4) 第2審判以外は特に資格を必要としない。（ボールパーソンは選手でも可）
- (5) 会場到着後速やかにチーム全員が受付で選手証を提示し、選手チェックを受けること。その際、ユニフォームと試合用シューズを着用または提示すること。
- (6) 各試合の開始30分前までに規定様式のメンバー表を受付に提出すること。提出なき場合は棄権とみなす。
- (7) 試合を行う場所に立ち入る者はすべて、大会要項に則るシューズを着用すること。
- (8) 指輪・ネックレス・ミサンガ他、いかなる装飾品も身につけてはならない。また爪は危険の無いように手入れすること。この項に違反する選手は出場を認めない。
- (9) ユニフォームは対戦チーム同士で調整し、同系色を避けること。特にストッキングの色が重複しないようにすること。調整の際は正副をどのように組み合わせてもよい。
- (10) 試合中にピッチサイドでウォーミングアップを行う際はボールを使用しないこと。
- (11) 体育館では、上履き下履きの区別をすること。（今後の使用に支障があるため）
- (12) 飲料や食事等のゴミは必ず持ち帰り、絶対に会場のゴミ箱に捨てないこと。忘れ物は処分する。
- (13) 会場付近の路上や私有地に絶対に駐車しないこと。違反車両に対しては厳格に対応する。
- (14) ビッグレイク利用時の注意  
送迎車は1チーム5台以内とし、車のダッシュボード上にチーム名を記入した駐車許可証を置くこと。  
クラブハウスは、原則として大会運営役員以外の立ち入りを禁止する。

※ 抽選会・代表者会議終了以降、大会要項及び申し合わせ事項に違反した場合は、該当チームを失格とし、以後の試合（進行中を含む）全てを0対5で相手チームの勝利とする。ただしその時点までに終了した試合の結果は変更しない。失格となったチームは、以後の処置について大会の規律委員会の決定に従うこと。その他、規定にない事態が発生した場合の処置は大会運営本部が決定する。